

2017年6月米国雇用統計サマリー

非農業部門雇用者数前月比：	22.2 万人増（予想 17.8 万人増）
失業率：	4.4%（予想 4.3%）
平均時給：	前月比 0.2%増（予想 0.3%増） 前年比 2.5%増（予想 2.6%増） （予想：Bloomberg）

米労働省が7日発表した6月の雇用統計で、非農業部門の雇用者数が前月から22万2000人増加した。雇用者数は伸び悩むとした、われわれの予想を上回る4か月ぶりの高い伸びを示した。4月、5月分もそれぞれ3万3000人、1万4000人ずつ上方修正され、3カ月の平均では19万4000人。20万人に近い数字を維持している。失業率は4.4%と前月から0.1ポイント上昇したが、これは職探しをしようというひとが労働市場に戻ってきたためむしろ明るい兆しととらえられている。いずれにせよ完全雇用に近い状態にある。

但し、賃金の伸びは依然として鈍い。この点はわれわれの指摘通りだった。平均時給は26.25ドルと前月比で0.2%と、5月の0.1%から加速したものの、予想の0.3%を下回った。前年比は2.5%で、同じく前月の2.4%から加速したものの予想には届かなかった。

市場はますますインフレ動向に神経質になっている。その意味で重要な指標は14日に発表される6月の消費者物価指数CPIであろう。5月は市場予想を下回り、2015年5月以来の低い伸びとなった。雇用統計でも賃金の伸びが鈍かっただけに、再びCPIが弱い数字となると足元の金利上昇も一服、当然ドル円も円高に巻き戻る可能性がある。注視したい。

ご留意いただきたい事項

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会